

9-6			
主題	介護職育成ツール「セブンステッププログラム」を実践報告		
法人名	社会福祉法人 うらら		
事業所名	みずべの苑デイサービスセンター		
発表者（職種）	森野芽衣（生活相談員）		
共同研究(実践)者	佐藤寿代（生活相談員）、小沼奈穂子（介護職員）、本間拓郎（生活相談員）、山田純生（スーパーバイザー）		
電 話	03-3598-0130	F A X	03-3598-0187

今回発表の事業所やサービスの紹介	墨田川のほとりの東京都北区志茂にございます。相談サービスから在宅サービス、施設サービスをシームレスに提供させて頂いております。“「特別」なことではなく、「普通」「あたりまえ」が大切。そしてそれを続けていくこと”がケアのモットーです。
------------------	--

《1. 研究(実践)前の状況と課題》 みずべの苑では、開設から 15 年が経過。毎年新人を採用して、介護職としての新人教育、人材育成に取り組んできました。しかし、これまでは施設で統一された新人の教育体制・方法がなく、介護職の基本的素養となるケアスキルも各職員が独自で習得する状態でした。 《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》 そこで私たちは、セブンステッププログラムと称した人材育成プログラムの開発に至りました。これは入居者・利用者に安心・満足されるケアサービスを提供できることを目的とした介護職の人材育成プログラムです。 今回は、セブンステッププログラムの構成・要点と実践報告をさせて頂きます。 《3. 具体的な取り組みの内容》 セブンステッププログラムはキャリアパスに連動したキャリアデザインを描いています。 まずは新卒ならびに未経験者が入職から 3 年を かけ食事・排泄・入浴・移乗移動・服薬管理・感染予防・認知症ケアの基本介護 7 領域を身に付けます。4 年目以降はケアスキル評価の方法論や面談スキル、リスクマネジメントなど 7 項目ある指導スキルを習得。このステップアップにより質の高いケアが提供できる介護専門職の育成と安全な施設創りに繋がっていきます。
--

この人材育成プログラムを「セブンステッププログラム」といいます。 このプログラムは「ケアスキルの定期的評価」「個別面談」、「指導者育成セミナー」から構成されています。 《4. 取り組みの結果》 このプログラムを開始し 4 年が経過し、新卒ならびに未経験で入職してきたスタッフは設定した目標をほぼ達成しました。 《5. 考察、まとめ》 介護サービスの現場で安全で均質なケアを提供するには指導する側、受ける側個々のセンスや思いのみではなく、システム化された取り組みの有用性を感じました。 《6. 倫理的配慮に関する事項》 人権や個人情報保護の観点から、個人を特定する記述について配慮しました。 《7. 参考文献》 特にありません。 《8. 提案と発信》 本プログラムの定期的な見直しを重ねて、着実に人材育成ができるシステムとして機能させていきたいと考えています。また、この取り組みを当施設に限らず、他の高齢者施設でも活用戴けるよう、情報発信し、プログラムの妥当性の検証、標準化していけるよう取り組んでいきます。
